

C'est TRÈS Bon! Vol. 117

Boulangerie C'est TRÈS Bon

2013. 10. 03

～おいいパンの通信～

9.30. ゼセ・トボンキャナルティ博多店は2周年を迎えることができました。
平尾店12年目、キャナルティ店3年目に入り、これからも皆様に夢に向ける様(バシ)め
おいいパンを焼いていきたいと思ひます。バヨリいつもありがとうございます!!
頼まれ信頼できるスタッフに団結仕事ができることに巴から感謝しています。
お互いに影響し合い、共に成長していく店でありたいと願っています。

私には、すべてバにあて思ひ続いている夢があります。その夢の実現には自分の能力以上に
多額の資金が必要であり、ほんとうに可能なのか...と自問自答し続けてきたこともあります。
パンを作る仕事を一生の仕事にすることは決めています。この仕事を通じて
人の役に立てる生き方をいたいと思っています。だったらこの夢の他に方法があるのでは
ないか...いろいろ考えた末でもバにずっとあるのがこの夢なのです。7月末に
ある方からすすめられた本を読んで、ふとバに浮かびました。資金を集めるため自分の足で
実験に転じてみよう。プレゼンの資料を作成し、歩み出しました。ほんとに物事が動き出したの
です。フランス側から投資する可能性あると話が来ました。多くて会って話をすると
ハイステージールをめぐり9月はじめ人りを訪ねました。(滞在は3日ないし...)
約3日間先方と会って充分に話をしました。私一人で決めてたら二の舌を立て
いたかもしれません...しかし結論は帰ってきて考えた末断わりました。

ビザのこと、会社設立のこと、夢実現のために私は手に取るやうな道にも思える
悪い話にはなからずからこそ断わってから、ほんとうにこの決断はよかつたのか、また
ふつたりに度たのではなくて涙が出てきました。なぜ断わったのか....

この話が来た時に、ヨーロッパのパン屋のオーナーラウルメーデル氏に相談のメールをしてました。
でもメールの返信はなかったのです。だから今日時間もないのだとさわるのはやめようかなと
思っていました。ヨーロッパ滞在2日目メーデルさんが会ってほしいとメールをくれました。
そこで今回の話をくわいく話し合いました。フランスのパン屋の経営のこと、会社設立のこと
店铺を見つけ探し契約するところなども説明してくれ、私の基本知識の基、先方と
話をすこべてきました。先方からは結果をもとに意見を言ってあげるからと次の日も
(ヨーロッパ滞在3日目)会う約束をしてくれました。メーデルさんの店でたまにはVIRON製粉の
社長とも出会い、話をすこべてきました。びっくりしました...私はヨーロッパのパン屋さんで
10軒くらいを働きながら学ばせてもらつたのですがVIRON製粉の粉を待つてる所が
ほんとあります。(ある方にご紹介頂いたからです。)そんな私の半分のご縁もあり...
2日目メーデルさんと会い、先方と会って2回目の話を終え、ホテルに戻るとメーデルにから

M.Hに電話にて会う約束をしなさいとメールが入りました。え、…明日帰る…
僕は先方との回目のアポイント、双方はメデールさんのところアポイント そして空港へ。
はじめまして…と電話にて事情を説明するM.Hはメデールさんの所への方来て下さることになりました。ノーリに着いてからのおまりの物事の展開に、出会う人に、いつもおどき、ほんとうに感謝でした。たった3日でこれまで実じて、普段は決してできない経験と心からの感動がありました。

昼食を食べながらの3回目の先方とのアポイントのあと私の便は、このままこれが進むのではないかと思うていました。そこで双方17時メデールさんの店の前のテラス席で、
メデールさん、3回目の先方とのお会いに通じて頂いた日本商事のバス駐在のアントン、
M.Hさん夫妻、そして私の5人で今回の件についてどう考えるかというお会いが
行われました。私の今日のことを聞いてみんなが貴重な時間を割いてくれて感謝して
くれました。最後まで配てくれたメデールさんは心が先方に伝わりました。
ほんとうに幸せでした。皆からの愛を感じ、これだけで充分だと思いました。
そして18時お別れも時間がなくてメデールさんがバイクタクシーを手配してくれて
いました。“かおり、もう行く時間だ”と言われ みんなにおれを言ってメデールさんの店を
後にし空港に向いました。夜の街のバイク！（バイクタクシーは大型バイクに4つの
トランクを載せてくれ、運転手さんがいてヘルメットからは音楽も聞こえ入、運転手
さんに立ちできます。）パリの夕方の渋滞の車の間をぬって走ります。途中
保険入ってきてようたーと何度も心から思いました。またこんな経験もうすこ
ないだろうなあことでも重要な初バイクタクシーのParisでした。
無事空港に着いて、運転手の人に“いくら？”，とたずねると、もうメデールさんが
お金を支払ってくれていました。空港で渡が止まませんでした。8年前初めて
メデールさんの店で研修させてもらいました。それから育んだ心の絆。国や言葉の壁を
超え、育てることができた友情を感じ、いつも感謝されました。ほんとうに幸せだなあといつも
思いました。（幸せでお金や物を得るとは決めて味わえないと思います。）

今回フランスでの3日間は何か見たいかに守られている家族友人がほほ笑んでいた人に
会え、話を聞き、みんなの愛を感じてこれまで豊かな経験をすることができたからです。
また、いつもですが、カミタとして一日一日を生きたいと思っています。自分の心の思いを大切に、
今、「終わらざる夏」という本を読みます。戦争の時代です。戦後69年今の世の中と
たった69年ずのあの時代を生きた人の生活、価値感、世の中…などを考えて
させられます。一つ一つのことが当たり前なわけではなく感謝すべきことなのだといつめて
思います。この仕事ができる幸せ、夢を描ける幸せ、日々の幸せを感じます。 K.D.